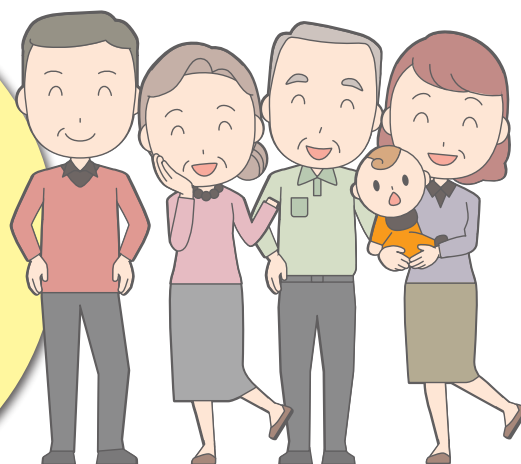


基本目標 3  
生涯学習の  
推進



## 基本目標3 生涯学習の推進



### 基本的施策 1 生涯教育と社会参画の推進

整理番号	想定される事業	事業区分（評価）		新規・継続・廃止
		計画策定時	中間評価	
3-1-1	公民館が地域の学習拠点として、市民の学習ニーズや社会の要請に応えるなど地域コミュニティの場となるよう、特色ある事業を推進します。	B	B	継続
3-1-2	公民館事業として、地域のコミュニティが充実するよう地区運動会など、子どもから高齢者まで世代を越え地域全体を巻き込んだ事業を推進します。	B	A	継続
3-1-3	地区公民館事業として、市民が生涯にわたって、自主的な学習活動を続けることができるよう活動を支援します。	B	B	継続
3-1-4	中央公民館事業として、のいちマナビフェスタの開催など、市民自らが主体となった学習成果を発表する機会の充実を促進します。	B	B	継続
3-1-5	中央公民館事業として、寿大学校など生涯にわたって学ぶ機会の提供に努めます。	B	A	継続
3-1-6	市民の自主的運営による市民大学校事業など、市民による市民のための学習体制の推進に努めます。	B	A	継続
3-1-7	市民大学校グループ研究会やサークル活動など、自主的学習グループへの活動を支援します。	B	—	廃止
3-1-8	まちづくりや環境問題など、地域の問題解決のため市民自ら自主的に活動しているグループ・団体を支援します。	C	—	廃止
3-1-9	図書館が市民の学習活動を通じた知の拠点として、誰もが利用しやすい施設として機能を果たすよう努めます。	B	B	継続
3-1-10	学びのサポーター登録など、地域の人材を発掘し、地域社会の活性化を推進します。	B	B	継続
3-1-11	子ども会やスカウト育成会、PTA連合会、女性団体など、社会教育関係団体の自立と活動を支援します。	B	A	継続
3-1-12	学んだ成果を活かして社会に貢献することを目的としたボランティアセンターを設置し、情報の集約化とボランティアのコーディネート精度を高めます。	D	—	廃止
3-1-13	新図書館の事業として、市民が学習の成果を活用して行う活動の機会を提供し、その活動を支援します。	—	B	新規
3-1-14	複合施設である「学びの杜のいちカレード」の機能を生かした事業を展開します。	—	C	新規
3-1-15	市民協働の拠点づくりに地域中心交流拠点施設を積極的に活用します。	—	C	新規

整理番号 3-1-1	公民館が地域の学習拠点として、市民の学習ニーズや社会の要請に応えるなど地域コミュニティの場となるよう、特色ある事業を推進します					担当課 生涯学習課
事業区分（評価）			具体的な取組みの例			
計画策定時		中間評価				
B		B		●グラウンドゴルフ大会 ●健寿事業 ●絵手紙作成など ●日帰り研修 ●ボウリング・麻雀大会		
成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	地区公民館の自主事業への参加者数	人/年	2634	2416	3160	地区公民館、女性センター（運動会・虫送り以外）
これまでの課題等			今後の方向性			
市民の学習ニーズを拾い上げ、地域コミュニティの場となるような事業の推進が必要です。			継続して市民の学習ニーズや社会の要請に応えられる、特色ある事業を推進していきます。			
平成28年度の実績						
事業数：野々市公民館（9件）、富奥公民館（5件）、郷公民館（6件）、押野公民館（17件）、女性センター（14件）						合計51件



整理番号 3-1-2	公民館事業として、地域のコミュニティが充実するよう地区運動会など、子どもから高齢者まで世代を越え地域全体を巻き込んだ事業を推進します		担当課 生涯学習課
事業区分（評価）		具体的な取組みの例	
計画策定時	中間評価	●各公民館が地区運動会を実施（年に1回）	
<b>B</b>	<b>A</b>		
これまでの課題等		今後の方向性	
子どもから高齢者まであらゆる世代が参加でき、地域間の結束が高まるような事業の推進が必要です。		今後も継続して世代を越え、地域全体を巻き込んだ事業を推進していきます。	
平成28年度の実績			
参加者数：野々市公民館（1,400人）、富奥公民館（2,200人）、 郷公民館（1,150人）、押野公民館（1,000人）      合計：5,750人			



富奥公民館運動会（富陽小学校）



押野公民館運動会（館野小学校）

整理番号 3-1-3		地区公民館事業として、市民が生涯にわたって、自主的な学習活動 を続けることができるよう活動を支援します					担当課 生涯学習課	
事業区分（評価）			具体的な取組みの例					
計画策定時		中間評価		●会員募集チラシの作成、配付 ●各サークルの成果発表の場を提供 （マナビィフェスタの芸能民謡祭、音楽祭等）				
B		B						
成果 指標	指 標 名		単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明	
	各施設で活動するサークル数		団体	99	97	108 <small>(110から変更)</small>	地区公民館、女性センター等	
これまでの課題等				今後の方向性				
自主的な活動を継続するためのモチベーションの維持、向上ができる支援が必要です。				今後も継続して、市民が生涯にわたって自主的な学習活動を継続できるよう活動を支援していきます。				
平成28年度の実績								
サークル数：野々市公民館（31団体）、富奥公民館（14団体）、郷公民館（15団体） 押野公民館（11団体）、女性センター（26団体） 芸能民謡祭参加：19団体、音楽祭参加：3団体、中公展示：20団体、カメラア：1団体、 中公イベント：11団体								
						合計：97団体		
						合計：54団体		



芸能民謡祭



音楽祭

整理番号 3-1-4	中央公民館事業として、ののいちマナビィフェスタの開催など、市民自らが主体となった学習成果を発表する機会の充実を促進します		担当課 生涯学習課
事業区分（評価）		具体的な取組みの例	
計画策定時	中間評価	●公民館サークルや団体への出演・出展依頼 ●日頃の成果を発表できる場の提供	
B	B		
これまでの課題等		今後の方向性	
市民自らが主体となり成果を発表できる機会の充実を支援することが必要です。		中央公民館の建て替えに伴い機運が高まっており、市民が自ら主体となった学習成果を発表する機会と場の充実を促進していきます。	
平成28年度の実績			
芸能民謡祭参加：24団体、音楽祭参加：18団体、中公展示：31団体、中公イベント：24団体、 カメラリア：2団体、フリーマーケット参加：12団体、フォルテ展示：7団体、 フォルテイベント：2団体			
合計120団体			



野々市生活学校



模擬店各サークル 展示



整理番号 3-1-5	中央公民館事業として、寿大学校など生涯にわたって学ぶ機会の提供に努めます					担当課 生涯学習課
事業区分（評価）			具体的な取組みの例			
計画策定時		中間評価		●寿大学校と寿大学院の事業実施		
B		A				
成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	寿大学校修了者数 （累計）	人/年	1392	1603	1670	昭和62年度以降の修了者の累計 （42人受講 / 年）
これまでの課題等			今後の方向性			
高齢者に様々な分野の学習の場を提供し、充実した生涯学習を行える環境を整えていく必要があります。			今後も講座内容の充実を図りながら継続していきます。			
平成28年度の実績						
寿大学校 ・教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座の開催 寿大学院 ・ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチの8コースに分かれて自主的に専門的な学習の実施						



寿大学校(県立大見学)



寿大学開校式

整理番号 3-1-6	市民の自主的運営による市民大学校事業など、市民による市民のための学習体制の推進に努めます					担当課 生涯学習課
事業区分（評価）			具体的な取組みの例			
計画策定時		中間評価		●コミュニティカレッジの実施 ●マイ・タウン塾の実施		
B		A				
成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	市民大学校事業の参加者数（累計）	人/年	314	779	800 (470から変更)	コミュニティカレッジ、公開講演会など
これまでの課題等				今後の方向性		
市民の学習ニーズに応えられる学習体制の推進が必要です。 平成25年度より内容の充実や、参加者の幅広い層の取り込みを目的とした共通講座や特別講座を新たに開始し、実績が計画策定時の目標値を上回ったため、上方修正します。				市民自らがニーズに沿った講師やテーマを設定し学習できるような体制、より自主的に学びを深めることができる学習体制を推進していきます。		
平成28年度の実績						
公募による企画委員や町内会が講師・テーマを選定し、ニーズに合わせた企画の実施。 ・コミュニティカレッジ：15講座680名 ・マイ・タウン塾：3町内会99名						



ののいちコミュニティカレッジ



マイ・タウン塾（柳町）

整理番号 3-1-7	市民大学校グループ研究会やサークル活動など、 自主的学習グループへの活動を支援します	廃止	担当課 生涯学習課						
<table><tr><th colspan="2">事業区分（評価）</th></tr><tr><th>計画策定時</th><th>中間評価</th></tr><tr><td>B</td><td>—</td></tr></table>				事業区分（評価）		計画策定時	中間評価	B	—
事業区分（評価）									
計画策定時	中間評価								
B	—								
成果 指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明			
	自主学習グループ数	団体	3	3	—	市民大学校の自主研究グループ			
今後の方向性									
【廃止理由】 各グループメンバーの高齢化により活動が困難となったため、市民大学校の活動に統合するため。									

整理番号 3-1-8	まちづくりや環境問題など、地域の問題解決のため市民 自ら自主的に活動しているグループ・団体を支援します	廃止	担当課 生涯学習課						
<table><tr><th colspan="2">事業区分（評価）</th></tr><tr><th>計画策定時</th><th>中間評価</th></tr><tr><td>C</td><td>—</td></tr></table>				事業区分（評価）		計画策定時	中間評価	C	—
事業区分（評価）									
計画策定時	中間評価								
C	—								
今後の方向性									
【廃止理由】 現在、市民協働課が事業を行っています。									

整理番号 3-1-9	図書館が市民の学習活動を通じた知の拠点として、誰もが利用しやすい施設として機能を果たすよう努めます					担当課 生涯学習課
事業区分（評価）		具体的な取組みの例				
計画策定時	中間評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●図書、雑誌等の図書館資料の収集・保存・提供</li> <li>●レファレンスサービス、生活に密着した情報の提供</li> <li>●学校図書館活動の支援</li> </ul>				
<b>B</b>	<b>B</b>					
成果指標	指標名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	図書の貸出冊数	冊/年	—	93844	500000	現状値は現図書館の貸出冊数 目標値は新図書館の貸出冊数（予測）
これまでの課題等			今後の方向性			
市民のニーズに応え得る図書館資料の数と種類を確保するには、十分な収蔵スペースが必要です。また、資料がそれを必要とする人に確実に届くための方策を考える必要があります。			新図書館では、蔵書数を大幅に増やします。電子書籍を導入することで、高齢者や障がい者にとって従来の図書よりも使いやすい資料を提供し、図書館外からも資料を閲覧できる環境を整えます。			



新図書館ブックタワー周辺



新図書館レファレンスカウンター付近



整理番号 3-1-10	学びのサポーター登録など、地域の人材を発掘し、地域社会の活性化を推進します					担当課 生涯学習課
事業区分（評価）		具体的な取組みの例				
計画策定時	中間評価	●学びのサポーターと作る夏休み体験事業の実施				
B	B					
成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	学びのサポーター登録者数	人/年	37	23	55	学びのサポーター登録・活用事業
これまでの課題等			今後の方向性			
地域の人材を発掘し、発掘した人材を活用することで地域社会の活性化を推進することが必要です。			今後も継続して地域の人材を発掘し、その活動の場を設けることで、青少年の体験活動の拡大や、地域社会の活性化を推進します。			
平成28年度の実績						
学びのサポーターと作る夏休み体験						
・ 野々市公民館（3講座77名）						
・ 富奥公民館（2講座22名）						
・ 郷公民館（3講座39名）						
・ 押野公民館（3講座57名）						
合計（11講座195名）						



学びのサポーターと作る夏休み体験  
（押野公民館）



学びのサポーターと作る夏休み体験  
（郷公民館）

整理番号 3-1-11	子ども会やスカウト育成会、PTA連合会、女性団体など、社会教育関係団体の自立と活動を支援します		担当課 生涯学習課
事業区分（評価）		具体的な取組みの例	
計画策定時	中間評価	●公民館の使用料減免など活動場所の支援および活動費の助成	
B	A		
これまでの課題等		今後の方向性	
各団体がその事務も含め自立して活動を行うことが必要です。		今後も各団体が自立して活動できるように活動の場の提供も含め、支援していきます。	
平成28年度の実績			
女性協議会		各種女性団体連絡協議会	
・ 北方領土返還運動支援（昆布販売）通年		・ 定期総会（5/11）	
・ リーダー研修会（6/25）		・ 日帰り研修（9/28）	
・ 県女性協議会加賀地区大会研究発表（8/20）		・ マナビィフェスタ2016参加（10/23）	
・ じょんからマラソン鍋提供（10/16）		・ 全国椿サミット協力（3/17.18.19）等	
・ 全国椿サミット協力（3/18.19）等			



女性協議会：全国椿サミット協力

各種女性団体連絡協議会：  
マナビィフェスタにてぜんざいの模擬店出店

整理番号 3-1-12	学んだ成果を活かして社会に貢献することを目的としたボランティアセンターを設置し、情報の集約化とボランティアのコーディネート精度を高めます。		担当課 生涯学習課
事業区分(評価)		今後の方向性	
計画策定時	中間評価	【廃止理由】 現在、市民協働課が事業を行っています。	
<b>D</b>	<b>—</b>		

**廃止**

整理番号 3-1-13	新図書館の事業として、市民が学習の成果を活用して 行う活動の機会を提供し、その活動を支援します。					新規	担当課 生涯学習課
事業区分（評価）			具体的な取組みの例				
計画策定時		中間評価	●読書に関わるボランティアの養成 ●ボランティアが活動する事業の実施 ●ボランティアの打ち合わせ等に使用できる場所の提供				
—		B					
成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明	
	図書館で活動するボランティアの人数	人	—	49	100	ブックスタート、公民館図書室、おはなし会等での活動	
これまでの課題等							今後の方向性
図書館やその他の施設で、読書に関わるボランティアをしてみたいという市民のニーズがあり、養成講座や活動機会の提供が求められています。ボランティア活動を円滑に行うには、スタッフ同士の打ち合わせや、イベントの開催準備等を行うための場所が必要になります。							新図書館の事業として、若者や男性も含む新たなボランティアの開拓と、既存のボランティアのスキルアップに力を入れ、ボランティアの活躍が生かされる事業を企画します。また、打ち合わせ等で日常的に使用できる場所を提供し、ボランティア相互の交流を促します。



図書館ボランティアのおはなし会



図書館でのイベント



整理番号  
3-1-14複合施設である「学びの杜ののいちカレード」の機能  
を生かした事業を展開します

新規

担当課  
生涯学習課  
市民協働課

## 事業区分（評価）

計画策定時

中間評価

—

C

## 具体的な取組みの例

- 図書館機能と市民学習センター機能を連携した事業の企画
- 市民活動・ボランティア活動支援スペースの活用

成果 指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	学びの杜ののいち利用者数	人/年	—	—	300,000	新たな利用者の呼び込み

## これまでの課題等

図書館機能と市民学習センター機能が一体化した、新しいタイプの複合施設の有効な活用方法が検討されてきました。また、図書館で主に活動する市民グループの活動拠点となるスペースが求められています。

## 今後の方向性

市民が、豊富な図書館資料を活用して、市民学習センターで音楽、調理、芸術等の生涯学習活動を行う中で、市民の交流が生まれ、学んだ成果が新たな活動へとつながる事業を実施していきます。



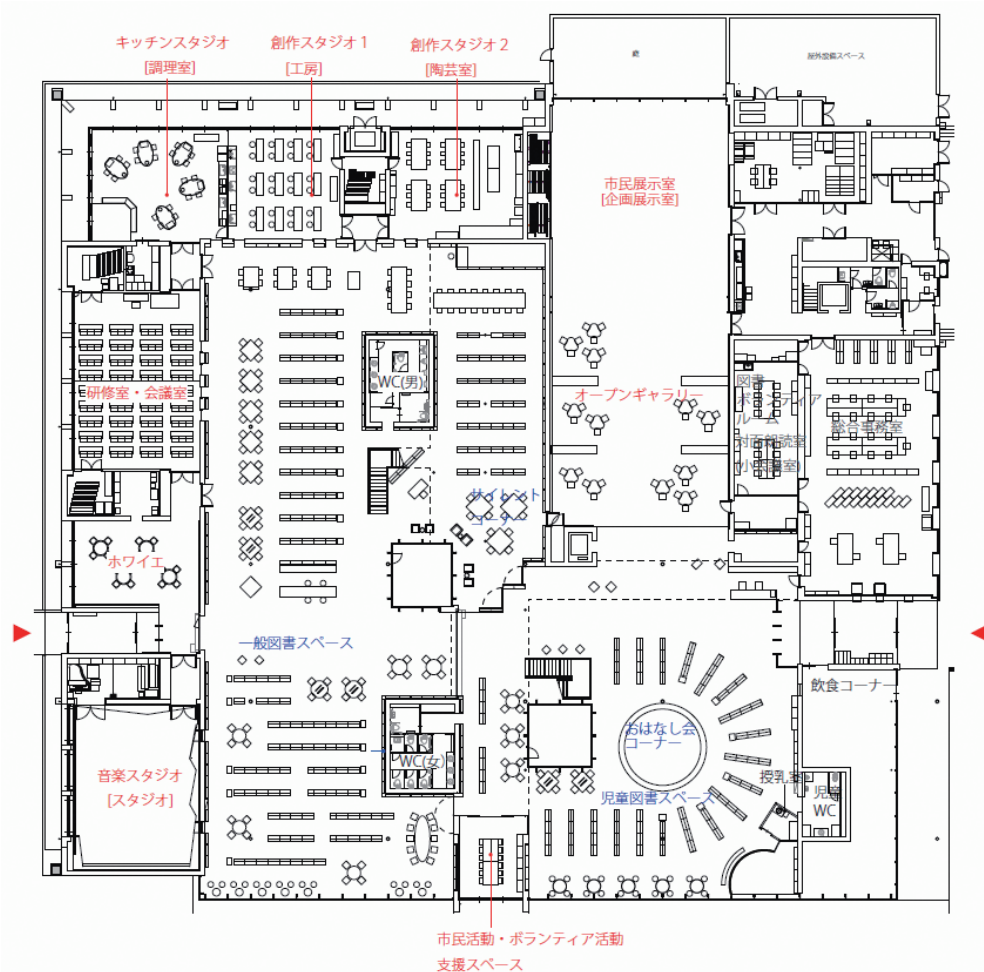
「学びの杜ののいちカレード」外観



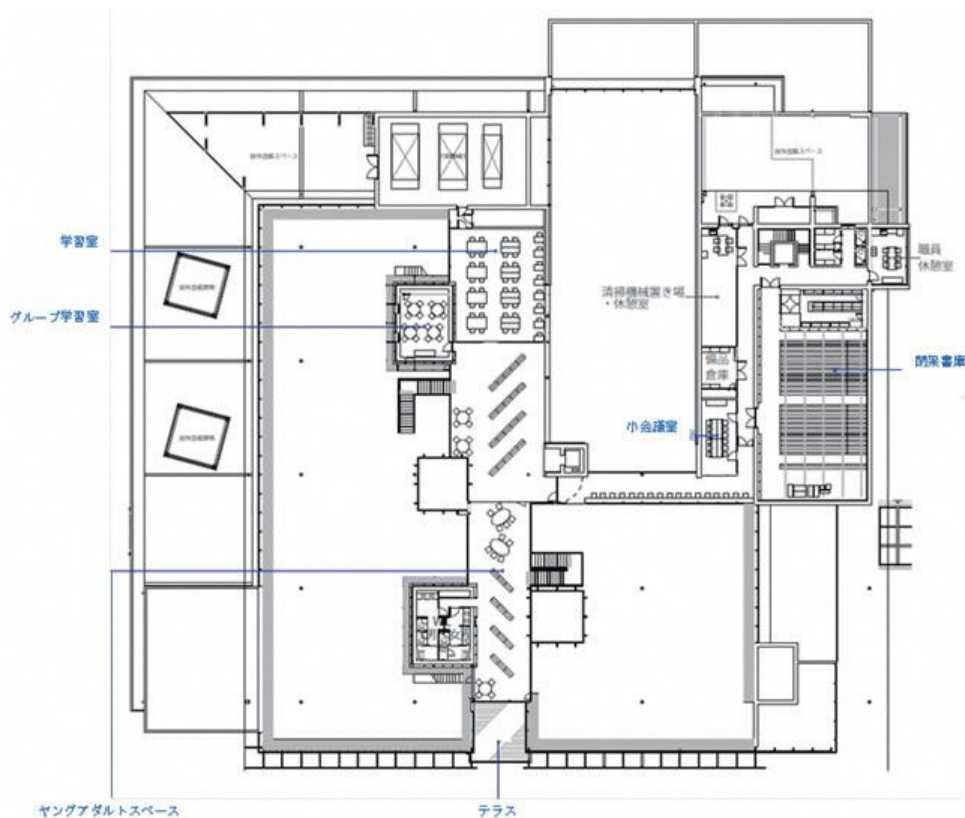
「創作スタジオ2」

館内図は次ページ

1 階



2 階



整理番号  
3-1-15市民協働の拠点づくりに地域中心交流拠点  
施設を積極的に活用します。

新規

担当課  
生涯学習課・企画課  
地域振興課・市民協働課

## 事業区分（評価）

計画策定時

中間評価

—

C

## 具体的な取組みの例

- 地域中心交流拠点施設を拠点とした大学連携事業の実施
- 市民連携拠点スペースを活用し、市民が自発的に提案・活動できる土壌づくり

成果指標	指標名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	新中央公民館利用者数	人/年	—	—	55,000	利用者の交流の促進

## これまでの課題等

ヒト、モノが出会い交流することにより、にぎわいを創出し継続させるための拠点となる施設が必要とされています。

## 今後の方向性

新施設を活用し、多くの人が出会いふれあいを育む事業を実施することで、にぎわい効果を全市に波及させることができるよう、部課を横断して市民協働の拠点となるよう取り組みます。



新中央公民館イメージ図



基本目標3 生涯学習の推進



基本的施策 2 文化・芸術活動の推進

整理番号	想定される事業	事業区分（評価）		新規・継続・廃止
		計画策定時	中間評価	
3-2-1	優れた芸術・音楽鑑賞などの機会を充実します。	B	A	継続
3-2-2	利用しやすい文化施設の環境を充実させ、市民参加型の文化芸術の活性化を促進します。	B	B	継続
3-2-3	市民芸術家との協働により芸術文化に親しむ機会を充実します。	C	B	継続

整理番号 3-2-1	優れた芸術・音楽鑑賞などの機会を充実します					担当課 文化課	
事業区分（評価）			具体的な取組みの例				
計画策定時		中間評価		●芸術鑑賞教室の実施			
B		A					
成果指標	指 標 名		単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	芸術鑑賞教室の回数		回/年	2	3	3	児童・生徒に芸術を鑑賞する機会
これまでの課題等				今後の方向性			
西洋音楽、日本の伝統音楽、演劇など、あらゆる芸術に親しむ機会を子どもたちに提供する必要があります。				子どもたちに優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養を図ります。			
これまでの実績							
小学生は5年生時に1回（スクールシアター）、中学生は在学中の3年間にオーケストラ鑑賞、古典芸能鑑賞を必ず1回ずつ鑑賞する機会を提供しています。							



スクールシアター



古典芸能鑑賞教室



整理番号 3-2-2	利用しやすい文化施設の環境を充実させ、市民参加型の文化芸術の活性化を促進します。					担当課 文化課
事業区分（評価）			具体的な取組みの例			
計画策定時		中間評価	●美術展の実施 ●椿まつりの開催			
<b>B</b>		<b>B</b>				
成果指標	指標名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	美術展出品数	点/年	111	163	200 (150から変更)	市民による市民芸術の振興
	椿まつり入場者数	人/年	6000	6671	7000	市花木「椿」をテーマとした市民文化・芸術の拡充
これまでの課題等			今後の方向性			
<p>多くの市民による美術展への出品、美術作品の鑑賞を促進します。</p> <p>椿まつり開催の周知、椿を題材とする催事内容を検討し、集客を図ります。成果指標の美術展出品数については、広報啓発により現状値が当初の目標値を既にクリアしているので、上方修正しました。</p>			<p>出品数の増加、展示会場の見直しなど、より多くの市民が参加しやすいイベントにするよう検討していきます。</p> <p>椿まつりの主会場に加え、「ののいち椿館」も椿の魅力を発信する場所として検討していきます。</p>			



市美術展



花と緑ののいち椿まつり

整理番号 3-2-3	市民芸術家との協働により芸術文化に親しむ機会を充実します					担当課 文化課
事業区分（評価）			具体的な取組みの例			
計画策定時	中間評価					
C	B		●BIGAPPLE IN NONOICHI ●科学理解増進事業 ●フォルテ ステージ・オン・ステージ ●市民劇団「劇団NONO」演劇公演			
成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	芸術文化事業数	回/年	19	37	40 (30から変更)	情報文化振興財団の自主事業や育成団体の活動を支援する
これまでの課題等			今後の方向性			
市民の関心が低い事業についての検証。 成果指標の芸術文化事業数については、新規事業等の企画立案により現状値が当初の目標値を既にクリアしているので、上方修正しました。			時代に沿った告知の工夫や市民のニーズを把握した事業の見直しや向上を行い、より要望に応える充実した事業内容に取り組みます。			
平成28年度の実績						
BIGAPPLE IN NONOICHI 2016 ・入場者数 ワークショップ約200名 コンサート469名 ・出演者学校訪問 場所 / 布水中学校体育館 生徒数 680名 学校関係者・保護者 約40名 フォルテ ステージ・オン・ステージ vol. 8 「きらめき★クラシックコンサート」 ・出演者 坂口昌優（ヴァイオリン）※野々市市出身 鶴見彩（ピアノ） 入場者数 116名 市民劇団「劇団NONO」演劇公演 ・演目「モモ」 開催日 2/11～12 入場者数 1日目 214名 2日目 190名 合計 404名						



科学理解増進事業 カメラ・キッズ



BIG APPLE 出演アーティストによる学校訪問

## 基本目標3 生涯学習の推進

## 基本的施策 3 伝統行事・文化財の保護と活用



整理番号	想定される事業	事業区分（評価）		新規・継続・廃止
		計画策定時	中間評価	
3-3-1	郷土芸能伝承団体活動や後継者の育成を支援します。	B	B	継続
3-3-2	市内の文化遺産を活用した企画展やイベントなどを充実します。	B	A	継続
3-3-3	埋蔵文化財発掘調査の最新情報の発信を充実します。	B	B	継続
3-3-4	市内の文化遺産の情報を発信するデジタル資料館を充実します。	C	B	継続
3-3-5	市内の文化遺産のガイダンス設備を充実します。	C	B	継続
3-3-6	史跡末松廃寺跡の解明を進め魅力ある再整備を実施します。	C	A	継続
3-3-7	史跡御経塚遺跡の発掘調査を行ない、再整備を実施します。	D	B	継続
3-3-8	喜多家住宅の重要文化財追加指定を実施します。	—	B	新規

整理番号 3-3-1	郷土芸能伝承団体活動や後継者の育成を支援します					担当課 文化課
事業区分（評価）			具体的な取組みの例			
計画策定時		中間評価				
B		B		●郷土芸能の行事に必要な道具などの維持管理の助成や、活動場所の提供 ●無形文化財指定に向けた学識経験者による調査		
成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	郷土芸能伝承団体の数	団体	24	24	25	休止中の伝承団体活動の復活（伝承すべき芸能数は25）
	市指定無形民俗文化財の件数	件	1	1	4	特に重要な伝承芸能を指定し保存意識を高める
これまでの課題等			今後の方向性			
郷土芸能を実施していくうえでの、次世代への継承。			市民や町内会が郷土芸能活動を継続し、後継者を育成することができるための支援を行います。			
平成28年度の実績						
学識経験者による虫送り（富奥地区・御経塚地区・押野地区）、獅子舞（中林地区）の調査を実施。						

虫送り



むかしの獅子舞（荒町）





整理番号 3-3-2	市内の文化遺産を活用した企画展やイベントなどを充実します					担当課 文化課
事業区分（評価）			具体的な取組みの例			
計画策定時		中間評価		●夏休み古代体験 ●埋蔵文化財企画展 ●郷土資料館企画展 ●歴史講演会		
B		A				
成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	企画展等への参加者	人/年	900	2382	3000 <small>(1000から変更)</small>	文化遺産理解の推進と学習
	文化財施設の利用者数	人/年	4400	7894	10000 <small>(5000から変更)</small>	
これまでの課題等				今後の方向性		
「北国街道野々市の市」などのイベントと企画展を同時開催したことで、施設の利用者数が増えたため、目標値を変更しました。 マンネリ化しないようイベントのテーマや内容等を工夫する必要があります。				地域の歴史をより身近にしていくために、小中学生にもわかりやすい内容を心がけていきます。		
平成28年度の実績						
ふるさと歴史館や郷土資料館といった文化財施設などで、古代体験や企画展などの歴史イベントを実施。						
ふるさと歴史館						
・夏休み古代体験		土器作り・弓矢体験等		参加者	283人	
・埋蔵文化財企画展		「弥生時代のむら」		入館者	898人	
郷土資料館						
・郷土資料館企画展		「おざしきの彩り」		入館者	1,131人	
カメラアホール椿						
・歴史講演会		「弥生時代のむらとくらし」		藤尾慎一郎氏（国立歴史民俗博物館副館長） 参加者 70人		



夏休み古代体験



郷土資料館企画展

整理番号 3-3-3	埋蔵文化財発掘調査の最新情報の発信を充実します		担当課 文化課
事業区分（評価）		具体的な取組みの例	
計画策定時	中間評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発掘現場での現地説明会</li> <li>●企画展などの展示会の開催</li> <li>●市ホームページでの公開</li> </ul>	
<b>B</b>	<b>B</b>		
これまでの課題等		今後の方向性	
<p>現地説明会や展示会は不定期の実施となっています。</p>		<p>発掘調査説明会等を定期的に開催するなど、最新情報を計画的に発信していきます。</p>	



末松廃寺跡発掘調査現地説明会

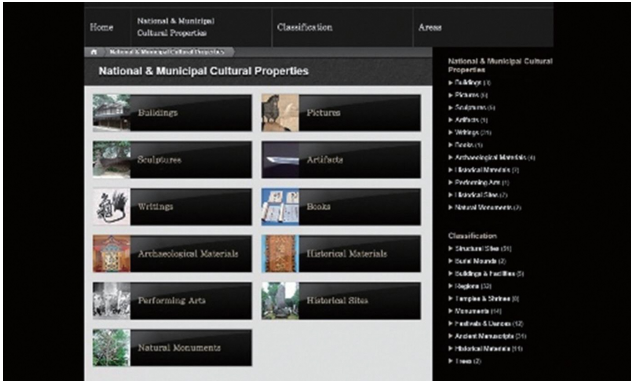


埋蔵文化財企画展

整理番号 3-3-4		市内の文化遺産の情報を発信するデジタル資料館を充実します					担当課 文化課		
事業区分（評価）			具体的な取組みの例						
計画策定時		中間評価		●デジタル資料館の公開					
C		B							
成果指標	指 標 名		単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明		
	デジタル資料館へのアクセス数		人/年	—	3409	5000 <small>(1500から変更)</small>	文化遺産理解の推進と学習		
これまでの課題等				今後の方向性					
デジタル資料館の更なる認知が必要です。				新たなコンテンツ資料を計画的に追加していくとともに、デジタル資料館の利用促進を目指します。					
これまでの実績									
市に所在する埋蔵文化財、民俗資料、歴史史料、古写真等のデジタル化資料を、市ホームページ上で公開。 ・平成27年度アクセス数      4,392件 ・平成28年度アクセス数      3,409件									



デジタル資料館トップページ



多言語化ページ

整理番号 3-3-5	市内の文化遺産のガイダンス設備を充実します					担当課 文化課
事業区分(評価)		具体的な取組みの例				
計画策定時	中間評価	●文化財説明看板等の設置				
C	B					
成果指標	指標名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	文化遺産案内説明板の整備数	基	7	39	56 (33から変更)	文化遺産ガイダンスの充実によるまちの魅力向上
これまでの課題等				今後の方向性		
<p>遺跡の発掘調査等をはじめとして市内に残る歴史文化遺産の解明が進んできたことにより、説明板の数を増やし目標値を変更しました。</p> <p>設置予定地の地権者の了解を得ることができず、変更しなければならない箇所がありました。</p>				<p>計画的に文化財説明看板等の設置を実施していきます。</p>		
平成28年度の実績						
市内の遺跡など歴史文化遺産を紹介するため、説明看板を10基設置。						



説明看板(高橋セボネ遺跡)



説明看板(上宮寺)



整理番号 3-3-6		史跡末松廃寺跡の解明を進め魅力ある再整備を実施します					担当課 文化課		
事業区分（評価）			具体的な取組みの例						
計画策定時		中間評価		●発掘調査 ●遺跡整備委員会					
C		A							
成果指標	指 標 名		単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明		
	末松廃寺跡発掘調査の進捗率		%	0	75	100	発掘調査を実施		
	末松廃寺跡の再整備率		%	0	32	100	再整備によるまちの魅力向上		
これまでの課題等				今後の方向性					
再整備するために必要な発掘調査の成果が想定よりも得られていません。				今後も遺跡整備委員会に諮りながら、計画的に事業を進めていきます。					
平成28年度の実績									
遺跡整備委員会に諮りながら、再整備に向けた発掘調査を実施。 ・ 発掘調査                    調査面積230㎡   伽藍域を囲う築地塀の確認 ・ 遺跡整備委員会        2回開催（8月9日、10月26日）									



調査風景



遺跡整備委員会現地視察

整理番号 3-3-7	史跡御経塚遺跡の発掘調査を行ない、再整備を実施します					担当課 文化課
事業区分(評価)		具体的な取組みの例				
計画策定時	中間評価	●御経塚遺跡出土品の修理				
<b>D</b>	<b>B</b>					
成果指標	指標名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	重文御経塚遺跡出土品修理の進捗率	%	—	50	100	文化遺産理解の推進と再整備によるまちの魅力向上
これまでの課題等				今後の方向性		
発掘調査及び、再整備の具体的な計画の検討は行っておりません。				御経塚遺跡の本格的な再整備事業は、末松廃寺跡再整備事業後に実施します。		
これまでの実績						
再整備に向けて、重要文化財に指定されている「御経塚遺跡出土品」の土器などを計画的に修理。 ・深鉢型土器・骨角器等127点保存修理を実施済。						



文化庁調査官による修理指導の様子



左：修理前



右：修理後

整理番号 3-3-8	喜多家住宅の重要文化財追加指定を実施します					新規	担当課 文化課
事業区分（評価）		具体的な取組みの例					
計画策定時	中間評価	●喜多家住宅の重要文化財追加指定に向けた調査					
—	B						
成果指標	指標名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明	
	喜多家住宅追加指定の進捗率	%	—	40	100	文化遺産の保存意識を高める。	
これまでの課題等				今後の方向性			
県を通じて文化庁に意見を伺いながら指定に向けた調査及び手続きを進めています。				追加指定後は指定済箇所を含めて公有化を目指します。			
平成28年度の実績							
喜多家住宅主屋の後方に残る酒造関連建物の追加指定を目指し、学識経験者による建物の詳細調査を実施し、調査報告書を作成。							



主屋（外観）



酒蔵（内部）

## 基本目標3 生涯学習の推進



## 基本的施策 4 // スポーツ活動の推進

整理番号	想定される事業	事業区分（評価）		新規・継続・廃止
		計画策定時	中間評価	
3-4-1	研修会や講習会を開催するなど、指導者の育成と指導力の向上を図ります。	B	B	継続
3-4-2	地域や年齢層に合ったスポーツの普及など、生涯スポーツを推進します。	B	B	継続
3-4-3	生涯スポーツを推進するためにも、誰でも参加できるニュースポーツなどの普及を推進します。	B	B	継続
3-4-4	高齢者等へのスポーツ活動を促進します。	B	B	継続
3-4-5	競技スポーツの強化のため、体育協会や加盟競技団体への支援とともに企業、民間スポーツクラブ、大学、高校などと連携し、選手の発掘や競技力向上に向けた取り組みを推進します。	B	B	継続
3-4-6	体育協会やスポーツ少年団、認定クラブ、民間スポーツクラブ、高校、大学のスポーツ活動との連携を図り、市民の自主的なスポーツ活動への参画を促します。	B	B	継続
3-4-7	競技協会が主体となる各種のスポーツイベントなど、自主運営に向けた取り組みを推進します。	B	B	継続
3-4-8	スポーツ施設の有効利用のため、市スポーツ施設、学校体育施設の計画的な運用を図ります。	B	B	継続

整理番号 3-4-1	研修会や講習会を開催するなど、指導者の育成と指導力の向上を図ります					担当課 スポーツ振興室	
事業区分（評価）			具体的な取組みの例				
計画策定時		中間評価					
B		B		●全国地区スポーツ推進委員研修会等への参加 ●スポーツ少年団指導者・保護者研修会の開催 ●スポーツ傷病の予防と応急手当講習会の開催			
成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明	
	指導者・保護者研修会参加	人/年	—	48	50		
	スポーツ傷病の予防と応急手当講習会・テーピング実技人数	人/年	—	45	50		
これまでの課題等				今後の方向性			
新たな指導者育成及び資質向上。				指導力の向上を図るため、講座の内容を充実させながら継続していきます。			
平成28年度の実績							
スポーツ少年団指導者・保護者研修会 ・市民体育館 子供のストレッチと体幹トレーニングについて NPO法人クラブぽっと クラブマネージャー 森 亮太氏 48名(講演、実技指導)							
スポーツ推進委員研修会 ・新潟県上越市 北陸地区スポーツ推進委員研修会 10名 ・福井県越前市 全国地区スポーツ推進委員研修会 5名							
スポーツ傷病の予防と応急手当講習会 ・市民体育館 応急手当講習会 日本赤十字社救急法指導員 岩本氏 福多氏 21名 ・市民体育館 テーピング実技 和田接骨院 和田 孝之氏 24名							



整理番号 3-4-2	地域や年齢層に合ったスポーツの普及など、生涯スポーツを推進します					担当課 スポーツ振興室	
事業区分（評価）			具体的な取組みの例				
計画策定時		中間評価		●ニュースポーツ体験会の開催 ●体力テストの実施			
B		B					
成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明	
	ニュースポーツ体験会の開催数	回/年	10	12	12		
これまでの課題等				今後の方向性			
ニュースポーツの普及振興と参加者の拡大。				体験会の更なる周知と地域に根付くスポーツの研究に努め、ニュースポーツの普及と市民の健康維持を図ります。			
平成28年度の実績							
毎月のニュースポーツ体験会 体力テスト（成人の部） 31名 体力テスト（高齢者の部） 21名 トリプルソフトバレー講習会（年2回） 30名程度							



ボール投げ



体力テスト（高齢者の部）

整理番号 3-4-3	生涯スポーツを推進するためにも、誰でも参加できるニュースポーツなどの普及を推進します。					担当課 スポーツ振興室
事業区分(評価)		具体的な取組みの例				
計画策定時	中間評価	●トリプルソフトバレー大会の開催				
<b>B</b>	<b>B</b>					
成果指標	指標名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	トリプルソフトバレー大会参加チーム数	個/年	25	24	30	幅広い年齢層の参加を目指すチーム
これまでの課題等			今後の方向性			
<p>ニュースポーツの普及に向けて毎月1回ニュースポーツ体験会を実施しているところで、その参加者の拡大と年齢を問わず気軽に参加できるニュースポーツの課題研究。</p>			<p>今後も多くの他市町との交流を図り、トリプルソフトバレー以外に定着するようなニュースポーツの調査研究と普及に努めていきます。</p>			
平成28年度の実績						
<p>第8回トリプルソフトバレー大会 平成29年3月12日(日) 市民体育館 24チーム 111名参加</p>						



ニュースポーツ体験会



競技の様子

整理番号 3-4-4	高齢者等へのスポーツ活動を促進します					担当課 スポーツ振興室
事業区分（評価）			具体的な取組みの例			
計画策定時		中間評価		●市内健康クラブに講師を派遣（月2回） ●研修会参加に対する活動支援		
B		B				
成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	加賀地区健康クラブ交歓大会参加人数	人/年	—	112	150	
	野々市健康クラブ協議会会員数	人	—	147	200	若葉健康クラブ 椿健康クラブ
これまでの課題等				今後の方向性		
内容・参加人数ともに順調に行われています。				今後も高齢者の健康保持のため、講師と協力して継続していきます。		
平成28年度の実績						
第13回加賀地区健康クラブ交歓大会    5月26日（木）    能美市物見山総合体育館    112名参加						
第49回石川県健康クラブ交歓大会    10月13日（木）    いしかわ総合スポーツセンター    123名参加						



若葉健康クラブ・市民体育館



椿健康クラブ・スポーツセンター



整理番号 3-4-5	競技スポーツの強化のため、体育協会や加盟競技団体への支援とともに企業、民間スポーツクラブ、大学、高校などと連携し、選手の発掘や競技力向上に向けた取り組みを推進します。					担当課 スポーツ振興室
事業区分（評価）			具体的な取組みの例			
計画策定時		中間評価		●石川県民体育大会選手派遣費の支出 ●石川県民体育大会の練習及び大会当日の補助		
B		B				
成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	県民体育大会への参加競技数	個/年	32	40	46	
これまでの課題等			今後の方向性			
石川県民体育大会のさらなる参加競技数の増 加と競技力の向上。			市と体育協会等との連携により参加種目の拡 大と強化を図ります。			
平成28年度の実績						
夏季大会選手団結団式及び全国高校総体激励会（市民体育館） 夏季大会（能美市が中心会場） 男子 6位、女子 9位 冬季大会選手団壮行会（市民体育館） 冬季大会（白山市白峰） 男子 3位、女子 9位						



新たな競技協会加盟（自転車協会）



冬季県体開会式

整理番号 3-4-6	体育協会やスポーツ少年団、認定クラブ、民間スポーツクラブ、高校、大学の スポーツ活動との連携を図り、市民の自主的なスポーツ活動への参画を促します		担当課 スポーツ振興室
事業区分（評価）		具体的な取組みの例	
計画策定時	中間評価	●「スポーツガイドののいち」の配置	
B	B		
これまでの課題等		今後の方向性	
民間スポーツクラブや高校、大学との連携強化。		市民が自主的にスポーツに取り組めるよう、体 育協会やスポーツ少年団等との連携に努めます。	
平成28年度の実績			
「スポーツガイドののいち」を公共施設に置きスポーツ行事の案内と会員募集、利用施設の紹介。 ・「スポーツガイドののいち」の発行 900部 ・体育協会 29団体 スポーツ少年団 17団体			



公共施設へのスポーツガイド配置



スポーツ少年団（リーダー研修会）

競技協会が主体となる各種のスポーツイベントなど、自主運営に向けた取り組みを推進します

担当課  
スポーツ振興室

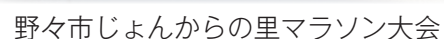
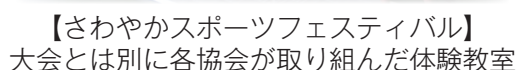
事業区分（評価）		具体的な取組みの例
計画策定時	中間評価	
<b>B</b>	<b>B</b>	

- さわかスポーツフェスティバルの開催
- 野々市じょんからの里マラソン大会の開催

成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	さわやかスポーツフェスティバルの参加者数	人/年	2339	1728	3200	各種目の参加者数
	野々市じょんからの里マラソン大会参加者数	人/年	1347	1083	1400 (1600から変更)	各種目の参加者数

これまでの課題等	今後の方向性
参加人数は計画策定時からみると減少しています。野々市じょんからの里マラソン大会の参加者数について、計画策定時の目標達成は困難であると判断し、成果指標の目標値を下方修正しています。(参加者数の推移は、100頁～101頁を参照ください)	創意工夫を図りながら参加人数の増加に向けて取り組むとともに、今後も体育協会、スポーツ少年団事務局の自主運営に向けた団体事務専任の育成と誰もが参加できるスポーツの実現に向け競技協会と協力して継続していきます。

平成28年度の実績	
さわやかスポーツフェスティバル	
・競技大会以外の体験種目	①サッカー ②小学生陸上教室 ③ハンドボール ④ラグビーフットボール ⑤トランポリン ⑥山岳 ⑦バウンドテニス ⑧弓道





整理番号 3-4-8		スポーツ施設の有効利用のため、市スポーツ施設、学校体育施設の計画的な運用を図ります					担当課 スポーツ振興室	
事業区分（評価）			具体的な取組みの例					
計画策定時		中間評価		●学校体育施設開放運営委員会の開催 ●学校体育施設開放指導員打合せ会の開催				
B		B						
成果指標	指 標 名		単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明	
	学校体育施設開放運営委員会		回/年	1	1	随時	施設の適正な利用を行うため随時開催する。	
	学校体育施設開放指導員打合せ会		回/年	1	1	随時	施設の適正な利用を行うため随時開催する。	
これまでの課題等				今後の方向性				
体育協会加盟団体やスポーツ少年団、認定スポーツクラブにおいて計画的な活用を行っています。				学校開放に関する会議の他にスポーツ少年団や体育協会等の各種個別会議においても、施設の有効活用ができるよう周知徹底を図ります。				
平成28年度の実績								
学校体育施設開放運営委員会（市民体育館） 17委員（各小中学校教頭7、各区域スポ少団長6、一般認定クラブ3、鍵管理者1） 学校体育施設開放指導員打合（市民体育館） 33団体（体協3、スポ少13、認定クラブ16、ソフトボール連盟1）								



スポーツセンター（アリーナ）



御園小学校（体育館）



## 基本目標3 生涯学習の推進



## 基本的施策 5 生涯学習環境の整備

整理番号	想定される事業	事業区分（評価）		新規・継続・廃止
		計画策定時	中間評価	
3-5-1	市民が生涯にわたって自主的な学習活動続ける拠点として、公民館等が十分な機能を保持するよう施設環境の整備に努めます。	B	B	継続
3-5-2	社会教育施設（図書館、公民館、生涯学習センターなど）の計画的整備を推進します。	D	C	継続
3-5-3	文化施設（博物館、美術館など）の計画的整備を推進します。	D	D	継続
3-5-4	スポーツ施設（体育館、武道館、サッカー場など）の計画的整備を推進します。	D	D	継続
3-5-5	社会体育及び学校体育施設の一般開放など、住民に開かれた施設活用を推進します。	B	B	継続
3-5-6	新図書館において近隣市町との連携を促進します。	—	C	新規

整理番号 3-5-1	市民が生涯にわたって自主的な学習活動続ける拠点として、公民館等が十分な機能を保持するよう施設環境の整備に努めます					担当課 生涯学習課
事業区分（評価）		具体的な取組みの例				
計画策定時		中間評価				
<b>B</b>		<b>B</b>				
		●公民館施設等の修繕工事等				
成果指標	指標名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	社会教育施設等の利用者数	人/年	103,429	95,784	140,000 (124,000から変更)	各公民館、女性センター
これまでの課題等			今後の方向性			
野々市中央地区整備事業関連（中央・野々市公民館解体・建設）の計画、調整。 押野公民館外壁等改修工事の実施。 平成31年開館予定の新中央公民館への新たな利用者の増加を見込み、上方修正します。（参加者数の推移は、101頁を参照ください）			地区住民を中心に、市民の幅広い利用があり今後も適切かつ計画的な維持管理を行います。 中央地区整備事業に関して、新たな生涯学習拠点施設として運営を含め計画調整を行います。			



富奥防災コミュニティセンター（富奥公民館）



押野公民館料理教室

整理番号 3-5-2	社会教育施設（図書館、公民館、生涯学習センターなど）の計画的整備を推進します		担当課 生涯学習課
事業区分（評価）		具体的な取組みの例	
計画策定時	中間評価	●「学びの杜のいちカレード」の建設 ●地域中心交流施設の建設	
D	C		
これまでの課題等		今後の方向性	
図書館、中央公民館の施設の老朽化や市民ニーズの拡大に対応するため、新たな施設の整備が求められています。		図書館と市民学習センターの機能を複合した施設「学びの杜のいちカレード」については、平成29年11月に開館いたしました。また、新中央公民館を核とした地域中心交流施設については、平成31年4月の開館を予定しております。	



建設中の「学びの杜のいちカレード」



「学びの杜のいちカレード」外観

整理番号 3-5-3	文化施設（博物館、美術館など）の計画的整備を推進します		担当課 文化課
事業区分（評価）		具体的な取組みの例	
計画策定時	中間評価	●「学びの杜ののいちカレード」の建設 ●地域中心交流施設の建設	
D	D		
今後の方向性			
郷土資料館、ふるさと歴史館の展示設備のリニューアル化を目指します。 カレードの展示スペース等の利用も検討していきます。			



郷土資料館



ふるさと歴史館

整理番号 3-5-4	スポーツ施設（体育館、武道館、サッカー場など）の計画的整備を推進します	担当課 スポーツ振興室								
<table><tr><th colspan="2">事業区分（評価）</th></tr><tr><th>計画策定時</th><th>中間評価</th></tr><tr><td>D</td><td>D</td></tr></table>		事業区分（評価）		計画策定時	中間評価	D	D	<table><tr><th>具体的な取組みの例</th></tr><tr><td>●体育施設整備検討委員会からの整備計画案に基づき検討</td></tr></table>	具体的な取組みの例	●体育施設整備検討委員会からの整備計画案に基づき検討
事業区分（評価）										
計画策定時	中間評価									
D	D									
具体的な取組みの例										
●体育施設整備検討委員会からの整備計画案に基づき検討										
<table><tr><th>これまでの課題等</th></tr><tr><td>施設全体の老朽化により、計画的に整備を進めていますが、計画外の突発的な工事等が多くなっています。</td></tr></table>		これまでの課題等	施設全体の老朽化により、計画的に整備を進めていますが、計画外の突発的な工事等が多くなっています。	<table><tr><th>今後の方向性</th></tr><tr><td>野々市中央公園拡張整備事業に併せて市体育施設整備基本計画を基にスポーツ施設の有り方を検討していきます。</td></tr></table>	今後の方向性	野々市中央公園拡張整備事業に併せて市体育施設整備基本計画を基にスポーツ施設の有り方を検討していきます。				
これまでの課題等										
施設全体の老朽化により、計画的に整備を進めていますが、計画外の突発的な工事等が多くなっています。										
今後の方向性										
野々市中央公園拡張整備事業に併せて市体育施設整備基本計画を基にスポーツ施設の有り方を検討していきます。										



市民体育館



市武道館



整理番号 3-5-5	社会体育及び学校体育施設の一般開放など、住民に開かれた施設活用を推進します					担当課 スポーツ振興室
事業区分（評価）		具体的な取組みの例				
計画策定時	中間評価	●社会体育施設及び学校体育施設の一般開放				
B	B					
成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明
	一般開放による施設利用	人/年	374,115	419,998	450,000	社会体育及び学校体育施設の一般開放による施設利用者数
これまでの課題等			今後の方向性			
利用率は伸びていますが、リピーターの割合が多く、新規利用者への利用啓発が必要です。			出来るだけ多くの市民に、社会体育施設及び学校体育施設を利用してもらうよう有効活用に努めます。			
平成28年度の実績						
社会体育施設及び学校体育施設の利用状況						
・ 体育協会 29団体						
・ スポーツ少年団 17団体						
・ 認定クラブ 34団体						
・ 高齢者クラブ 2団体						



市民体育館



一般市民向けエアロビ教室（スポーツセンター）

整理番号 3-5-6	新図書館において近隣市町との連携を促進します					新規		担当課 生涯学習課
事業区分（評価）			具体的な取組みの例					
計画策定時		中間評価		●図書館相互貸出協定の締結に向け協議 ●石川中央都市圏4市2町との連携によるサービスの向上				
—		C						
成果指標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明		
	市外の貸出利用者数	人/年	4,518	5,765	10,000	新規でかほく市、内灘町、津幡町との相互利用を開始する。		
これまでの課題等				今後の方向性				
図書館がその機能を十分に果たす上で、近隣の図書館間の協力・連携は、非常に重要なものです。今後は石川中央都市圏に属する既に連携済みの金沢市、白山市以外の残りの3市町（かほく市、内灘町、津幡町）との連携も必要となります。				石川中央都市圏4市2町（金沢市、白山市、野々市市、かほく市、内灘町、津幡町）の市民が、図書館を相互に利用できる体制づくりを進めていきます。また各市町の図書館連携のもと、圏域の市民にとってより利便性の高いサービスの実施に努めていきます。				